

■令和4年度外部点検シート（第2次系島市長期総合計画施策2次評価一覧表）

※令和3年度実施事業分評価及び令和5年度施策の方針

R3実績が
目標に
達成:△
未達:▼

施策責任者である部長による5段階評価
ランク/A（順調）
ランク/B（概ね順調）
ランク/C（やや課題がある）
ランク/D（大きな課題がある）
ランク/E（抜本的な改善が必要）

基本目標	政策	通し番号	施策	施策統括課	指標NO	施策に関する目標達成指標	単位	現状(R1)	R3実績	R3計画	R7目標	R3指標進捗	施策ごとの令和3年度実施計画事業	総合評価	【二次総合評価の所見】 ※評価の理由とR4に実施することなど	R5の施策の方向性	総合計画審議会からの主な意見 (取り組みや手法の改善策など)
重点課題 プロジェクト	重点課題：防災・減災	60	市民一人ひとりの防災力が高いまち“いとしま”プロジェクト	危機管理課	163	家族で災害時にどう行動するか、避難や連絡などのルールや方法を決めている市民の割合（市民満足度調査）	%	32.4	35.1	33.0	51.0	△	<ul style="list-style-type: none"> 地区防災計画作成事業 防災マスター育成事業（防災士育成事業） 防災教育推進事業 	B	防災教育は計画どおりに進んでいる。令和4年度は、子どもから保護者や地域まで防災・減災の意識と行動力を高めるため、防犯教育推進事業として、防災教育のデジタルコンテンツ（市内の被災動画、マイタイムライン）を作成する。防災マスター登録者を増やすに当たり、まずは防災士を防災マスターに認定する基準を定める。	防災士の資格取得者数は、概ね計画どおりに進んでいるが、防災マスターの認定及びその活動の場の提供等を検討する必要がある。令和4年度に整備する防災教育コンテンツをさらに充実させるため、追加のデジタルコンテンツを整備する。具体的には、防災クイズやARとタブレットを組み合わせた浸水被害体験機能等を想定。※AR（拡張現実）は、実際の風景に仮想の映像を重ね、ないものがあるように見せる技術。防災マスターについては、登録者が継続して資質向上できるように、フォローアップ研修を行う。また、防災士を防災マスターに認定する基準を定める。	
					164	防災マスター登録者数	人	0	0	3	15	▼					
重点課題：超高齢社会	重点課題：超高齢社会	63	元気な高齢者が地域で活躍し、暮らせるまちプロジェクト	介護・高齢者支援課	169	60歳以上で、生きがいを持って生活している市民の割合（市民満足度調査）【再掲】	%	61.9	56.8	63.0	67	▼	高齢者数は増加している一方、高齢者の生きがいづくりとして実施してきた事業の参加者数や会員数等は減少している。高齢者の新たなニーズを把握し、新規事業を展開する必要性が高いことから、シニアマッチングサービス事業で把握した相談者のニーズに応じて取り組みを検討する。さらに把握したニーズに対応した事業を横展開で実施していくことが重要である。	C	高齢者数は増加している一方、高齢者の生きがいづくりとして実施してきた事業の参加者数や会員数等は減少している。高齢者の新たなニーズを把握し、新規事業を展開する必要性が高いことから、シニアマッチングサービス事業で把握した相談者のニーズに応じて取り組みを検討する。さらに把握したニーズに対応した事業を横展開で実施していくことが重要である。	令和4年7月に委託契約を締結し、9月からシニアマッチングサービス事業を開始予定。事業開始以降は、シニアマッチングサービス事業利用者等から把握した高齢者のニーズを、重点課題プロジェクトの中で新たな事業につなげていく。令和4年度からシニアマッチングサービス事業を開始するが、毎年度事業評価を行い、事業内容の見直しを図る。また、令和6年度以降の介護保険制度の改正内容を踏まえ、地域支援事業への移行（介護保険事業特別会計予算への移行）も検討する。	
					170	多様な主体が連携したシニアマッチングシステムの構築と運用	—	—	0	—	R4までに運用開始	—					